



「さかいでまる」に決定

坂出市公認キャラクター



- 議員定数を2人削減・・・2
- 9人が一般質問・・・・・・4
- 議会報告会を開催・・・10

坂出北インターチェンジは「命の道」、フルインター化の早期実現に向けて！！

次回市議選より議員定数を2人削減へ

12月定例会では、市長から条例案1件、市道路線認定の議案1件、補正予算案6件が提案され、所管委員会の審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。また、9月定例会で継続審査となっていた平成24年度一般会計などの決算認定14件を認定しました。

最終日には、市長より提出された人事議案2件及び議員より提出された議員定数条例改正議案を可決しました。

主な議案の概要は、以下のとおりです。

(審議結果は9ページをご覧ください。)

坂出市議会議員定数条例を一部改正

次頁のとおり各会派様々な意見がありました。が、議会運営委員会等で協議を重ねた結果、18人の議員により次回選挙から議員定数を2人削減し、20人とする内容の議案が提出され、賛成多数で可決となりました。



反対討論

1点目に、今期改選前に議員定数を2人削減してから、2年余りしか経過していない。この間、委員会数が4から3へと縮小し、委員の負担も重くなっていることから、これ以上の削減は委員会の機能を損なう結果となる。

2点目に、地方分権が進む中、地方議会の役割はこれまで以上に重要となっており、本市議会もこれまで議会改革を進めてきたが、議員数の削減は議会改革とは言えない。

3点目に、議会は自治体の最終意思決定の場であるが、議員数の削減は議会の重要な役割と機能の低下につながる。

4点目に、議会の代表機能という観点からは、年齢層、性別、職業、各地域から万遍なく選出された議員で構成されるべきで、単に人口規模等によって議員定数を論じるべきでない。

以上により定数削減に反対である。

提案理由

昨年度制定した議会基本条例では、議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、定数の基準は、人口、面積、財政力や市の事業課題、類似都市の議員定数と比較検討すると規定した。

適正な議員定数のあり方について、これまで議論を重ねてきたが、議員それぞれに熱い思いがある中で全会一致には至らなかった。定数削減による議会運営への支障や議会の権能低下等の懸念を払拭するために、今後とも一層の研鑽に努めるとともに、議決機関としての使命と責任を果たすことで、市民の負託に答えていくべきであり、次期一般選挙において2人を減員すべきと決断した。

賛成討論

議員定数は議会の組織構成の根幹となる重要な要素であることから、昨年より、議会運営委員会等で慎重に協議を重ねてきた。その結果、本市の人口動態や厳しい財政事情等を総合的に判断した結果、議員自らも身を切る努力をすべきとの考え方が大勢を占めた。

前回、定数削減した後に、議会機能の低下を招かないように議会基本条例を策定し、議会改革に邁進してきた。今回さらに厳しい立場に身を置くことで、なお一層議会改革を押し進める契機となると考えている。

近年の議員定数の推移

選挙執行年月日	常住人口(人)	議員定数(人)
昭和58年4月24日	65,780	30
平成7年4月23日	62,737	28
平成11年4月25日	60,094	26
平成15年4月27日	58,065	24
平成23年4月24日	55,300	22

※常住人口は各年4月1日現在

議会運営委員会等での検討経過

平成 25 年 2 月	他市が議員数を削減している状況もあることから今後議論を必要とし、遅くとも 12 月までに適正な議員定数について結論を出すことを決定
平成 25 年 4 月	議員定数に関する協議の場を議会運営委員会とすることを決定
平成 25 年 6 月	全議員参加による議員研修会を開催
平成 25 年 7 月	議会運営委員会が定数問題について県外視察を実施
平成 25 年 10 月	東京財団より中村健氏を講師として招き、議員定数に関する講演会を開催
平成 25 年 11 月	各会派からの意見を聴取（右表参照）、各会派で最終調整
平成 25 年 12 月	議会運営委員会での全会一致に至らず、議員定数削減議案を有志による議員提案として提出することを決定



各会派の議員定数の考え方

11 月 15 日に開催した議会運営委員会では、各会派から多様な意見が出されました。

削減すべき

- 議員 1 人当たりの人口は現在、概ね 2,500 人である。これを 1 つの目安に考え、議員数を調整すべき。
- 人口の減少傾向に合わせ、議員数削減の姿勢は必要。ただし、今回削減したから次も削減とならないような議会の意思統一が必要。
- 他市との比較で削減はやむを得ない。委員会の役割、構成を重視し 6 人×3 委員会で 18 人。もしくは現状より各委員会 1 人ずつ減らし 19 人とする。
- 行政課題が山積していることから 3 委員会を堅持すべき。将来人口、他市の状況を勘案して、6 人×3 委員会の 18 人程度が妥当。

現状維持

- 議会基本条例制定後、様々な取り組みを試行錯誤している状態であることから、現状を維持すべき。
- これ以上の削減は議会の監視機能低下をもたらす。また独自に行ったアンケートでは削減の意見は少数であった。
- 二元代表制による議会のチェック機能や地方分権の進展、議会による政策立案には現状維持でなければならない。また、今回改選後、3 委員会となり、各委員会の負担も大きくなっていることから各委員会最低 7 人は必要。

予算関係

補正予算案は、一般関係のほか 5 会計でした。一般会計の補正予算案は、1 億 138 万 5 千円を増額し、補正後の予算総額は 234 億 362 万 9 千円となりました。また、病院事業会計では、新病院の救急自動車専用道路の確保のための用地購入等に係る費用約 1 億 200 万円を増額しました。

民生費

- 生活保護扶助費 **3,900 万円**
長引く景気の低迷などによる受給者の増加に伴い、医療費などの増加分を増額

土木費

- 道路新設改良事業 **1,000 万円**
緊急度及び優先度を加味しながら市内一円において道路整備を図るため増額

土木費

- 讃岐国府跡保存活用事業 **28 万円**
国府跡の史跡指定に向けた調査や指定後の活用策について研究する検討会を設置



一般質問

9名の議員が市政について聞きました

質問者の質問順に掲載しています。一般質問の詳細や過去の質問は、会議録で閲覧できます。

野角満昭議員

日本共産党議員会

市嘱託・臨時職員の処遇改善を求める

問 嘱託員・臨時職員の諸手当の支給状況は。

答…総務部長

嘱託員・臨時職員が時間外勤務に従事した場合は、正規職員と同様の率で時間外勤務手当を支給しています。また、上限を定めた上で通勤距離に応じた通勤手当相当額を加算して報酬・賃金を支給していますが、その他の手当については、法律の規定により支給していません。

問 実費弁償の観点から通勤手当の改善を図るべきでは。

答…総務部長

雇用情勢や民間及び他の自治体の賃金水準等を参考にしつつ、法律に基づき適宜適切な措置を講じていきます。

質問の主な項目

- ・来年度予算編成について
- ・地域改善向け改良住宅の入居について
- ・職員の労働条件の改善について

浄化槽の保守点検や法定検査の受検率向上に向けた取り組みは

問 浄化槽の維持管理が適正に行われていないことで、悪臭や水質汚濁等の環境問題が発生し、周辺の市民生活に支障が生じる事例がある。水環境の保全のためにも、浄化槽法定検査の受検を促したり、保守点検や清掃が適正に行われるよう取り組む必要があると考えるが。

答…市民生活部長

県浄化槽協会において、法定検査を受検していない設置者に対して電話や文書での受検指導等を行っています。また、市においても、悪臭等の苦情相談があった場合には速やかに状況把握をした上で原因者に対して指導助言を行っています。

今後も各家庭において、浄化槽の適正な管理が実施されるよう周知に努めます。

東山光徳議員

新政会

みかん等樹園地の維持のため後継者の確保に努めては

問 後継者不足等の理由により本市名産のみかん等樹園地の耕作放棄面積が拡大している。本市の対応は。

答…建設経済部長

耕作放棄地等への対策は、今年度からの新規事業「さぬき讚フルーツ生産拡大事業」によって坂出共撰みかん部会が小原紅早生の生産拡大体制の整備として、優良園地と生産者の将来計画について調査を行い、残すべき園地を把握し、円滑な園地の継承を行う取り組みを進めています。

また、従来から行っている品質改善対策事業等による支援も引き続き実施し、柑橘園の更なる充実を図ることで、新規就農者や後継者の確保に努めます。

空き家対策条例の制定を

問 昨年、自治会の協力を得て実施した空き家調査によると、本市においても、防災上危険な空き家が増加していることがわかる。国における空き家対策の議論や本市の条例制定の見通しは。

答…総務部長

本市において、必要な措置について助言、指導できること等を盛り込んだ空き家対策の条例化を検討中でしたが、国において、空き家の所有者に自主撤去を促す法案を取りまとめ国会に提出予定であるとの報道もなされています。

第185回国会に法案の提出はありませんでしたが、次期以降の国会における法案提出の可能性は高いと考えられます。法律と本市条例の内容に差異が生じることは避けるべきであることから、当面は法案の成立を待つて対応します。

質問の主な項目

- ・新年度予算編成について
- ・米の生産調整廃止の方針について
- ・農業の担い手育成について



小原紅早生みかん園



吉田耕一 議員

新 政 会

▼港灣計画を見直す考えはないか。

問 コスモ石油撤退による番の州地区の岸壁利用の変化に対処するため、現在、港域外である番の州北部まで港域に編入するよう働きかけているが、見直しはどうか。

答 ……市長

現在、港域外となっている番の州北部は大型船舶が多く就航しており、船舶交通の安全性を高めるためにも港域への編入は重要です。

そのためLNG船の運航が始まった平成22年に海上保安庁と協力して港域の拡張に取り組みましたが、関係団体の了解を得ることができず、現在に至っています。ご指摘の地域の開港域への一部編入は難しいと考えておりますが、今後も港域の拡張について、海上保安庁及び関係者と協議を続けていきます。

▼職員再任用制度の実施時期や内容は

問 再任用制度の実施時期及びその内容は。

答 ……総務部長

平成26年4月からの運用を目指し、職員組合との協議を含め、具体的な制度内容について検討しています。

問 制度開始に伴う新規採用枠への影響や今後の人事行政の運営についての考えは。

答 ……市長

人事の新陳代謝を図り組織活力を維持向上させるためにも、新規採用は必須であり、今後も一定の必要な人員・人材を採用したいと考えています。また、人事行政の運営には、新規採用枠の確保や年齢構成の適正化、嘱託員や臨時職員のあり方など様々な論点があり、それらについて適切にバランスをとりつつ、限られた財源の中、組織として最大の効果が発揮できる体制を構築することが重要です。今後とも、中長期的な視点で組織の活力維持に留意しながら、計画的な人事管理を行います。

質問の主な項目

- ・ 定員適正化計画について
- ・ 港湾振興のための取り組みについて

山条忠文 議員

改 進 の 会

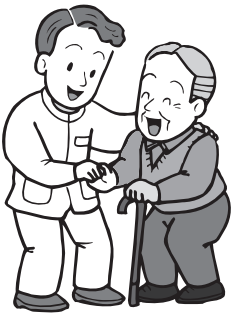
▼市立病院跡地に生涯教育や福祉の複合的な施設の建設を

問 駅から近い好立地の市立病院跡地には生涯教育や福祉ニーズに対応する複合的な施設を建設すべきであり、早急に検討体制を整える必要があると考えるが。

答 ……市長

現病院跡地の有効活用は、中心市街地のみならず、市域全体のまちづくりにとって非常に重要な要素となると考えています。しかしながら、跡地周辺に点在する美術館や図書館などの各種文教施設の将来像を総合的に勘案し、整備計画を慎重に検討する必要があるとともに、財源問題を考慮すると、市役所の新庁舎建設と並行して建設を進めることは相当困難であると考えています。

まずは、市民の皆さんの意見を幅広く聴取する中で、庁内の政策戦略会議等での検討や議会の意見を参考にしながら、整備スケジュールを含めた検討を進めていきます。



▼空き家対策に早急に取り組んでは

問 本市においては、老朽化し、防災上危険な空き家が年々増加しているが、これに対処する実効的な手段は皆無といえる。県内の他町においては、首長が住民の安全を守るため、国の法制化を待たずに、空き家対策条例を制定している。空き家対策についての本市の考えは。

答 ……市長

現在、国において空き家対策について法制化を検討中ですが、倒壊の危険性のある空き家については、除去修繕等の指導、助言、勧告、命令、行政代執行での強制執行が可能となるとされています。

これまで、本市としても条例化を目指し、その内容を研究してきましたが、必要な措置の命令や代執行等について規定することが適切かどうかは検討段階です。空き家対策に実効性のある条例とするためにも国の動向を注視している状況であり、法案が成立次第、速やかに条例化していく考えです。

質問の主な項目

- ・ いじめ防止対策について
- ・ コミュニティ・スクールについて
- ・ 障がい者支援について

斉藤 義明 議員

市民の声

自主防災組織を軸にコミュニティの再生を

問 自治会加入率向上を目指し、今年度から開始した自治会加入促進事業補助金の交付実績は。

答…総務部長
12月1日時点、交付実績はありません。

問 自治会に加入するメリットを感じられない若い世代の方に、まずは、自主防災組織に加入いただき、防災訓練等を通して地域との関わりを持ち、地域活動の大切さに目覚めることで、自治会活動にも興味を持ってもらうことが加入率向上への近道となるのでは。

答…総務部長
安全・安心の面から地域活動に参加していただき、徐々に地域活動の大切さに気付いていただくことは大変有効な手段であることから、市連合自治会へも提案していきます。

- 質問の主な項目
- ・自治会活動について
 - ・債権管理について
 - ・スマートライフプロジェクトについて

課長職に女性職員を積極的に登用しては

問 平成24年度において、県及び市内8市の中で、課長職以上に女性を登用していないのは本市のみである。平成26年3月には10名程度の部長級職員が定年退職予定であるが、男女共同参画プランの趣旨に則るとともに、女性職員のモチベーションを高めるためにも女性職員を課長職に登用してはどうか。

答…総務部長
管理職は性別に捉われることなく、職員の実績、適性、職務に対する能力や意欲等を総合的に勘案し登用すべきであることは言うまでもありません。また、女性職員の管理職への登用は、組織の活性化につながるものと考えています。
今年度以降、職員的大量退職を控えていることから、適材適所の人事配置に配慮しながら、女性職員を管理職に登用していきます。



出田 泰三 議員

市民の声

瀬戸内海国立公園指定80周年を迎えるに当たって

問 瀬戸内海は昭和9年7月に雲仙、霧島とともに我が国初の国立公園に指定され、80周年を迎える。

それを記念して、市独自もしくは県との連携も含めて計画中のイベントなどがあれば示してほしい。

答…市長
環境省と県が主体となって組織された実行委員会により、平成26年7月にサンポート高松において記念式典が開催されるほか、県では幅広い層の観光客を誘致するため様々な誘客イベントが計画されています。
また、瀬戸内国際芸術祭により瀬戸内海への注目が高まっている今、本市においても、80周年記念イベントとして、シーカヤックで瀬戸内の多島美を肌で感じることでできるツアーを観光協会と共同で計画しており、市民の皆様と節目の年を楽しみたいと考えています。

- 質問の主な項目
- ・まちづくりについて
 - ・観光振興について

ふるさと納税制度の積極的な活用を図っては

問 近年、ふるさと納税制度を利用して、特産品を積極的にPRするとともに、観光客誘致やまちづくりのための新たな財源化を図っている自治体が増えている。本市も小原紅早生みかんなどの特産品をテコに、この制度を積極的に活用してはどうか。

答…副市長
現在、本市では5万円以上の寄付をいただいた方に金時にんじん、金時いも、金時みかんの詰合わせセットをお礼として贈呈しており、寄付者の方からは坂出らしくおいしい特産品として好評を博しています。
さらなる特産品のPRや観光客誘致を図るには、この制度の認知度を飛躍的に高める必要があり、効果的な周知方法を工夫したいと考えています。また、三金時詰合わせセットのほか「さかいでブランド」をはじめとした特産品を幅広く活用するとともに、5万円の基準についても検討していきます。



三金時詰合せセット



坂出市にぎわい創出認定事業
旧藤田外科アートプロジェクト

前川 昌也 議員

市民グループ
未来の会

▼にぎわい創出計画を策定して
はどうか

問 にぎわい創出のため、市長は就任以来これまで様々な施策に取り組んでいるが、それらを整理した上で総合的な計画を作成し、目指すべき方向性を市民にも示すべきである
と考えるが。

答…副市長

さかいで大橋まつりをはじめとする既存事に加え、瀬戸内国際芸術祭や新規のまち歩き事業など様々な観光事業を実施してきました。また、市民団体が主体となって実施する事業に対して市が補助を行うことにより、さらなる市民共働を促進する体制整備も行っています。こうした動きに対する市民の理解を得るため、観光分野に特化した取り組みからでも体系的にまとめ、方向性を示す必要性も感じており、今後、先進地の事例も参考にしながら検討します。

▼「健幸の駅」設置と健康遊具の
導入の考えは

問 市民が交流でき、運動教室・健康相談事業への参加が気軽にできる健康づくりの拠点施設「健幸の駅」を設置する考えはないか。また、多くの市民がウォーキングやジョギングを行っている緩衝緑地の遊歩道に健康遊具を設置してはどうか。

答…健康福祉部長

保健センターをはじめとする拠点施設の整備は、今後ますます重要となる市民の自発的な健康づくりを進める上で重視すべき課題です。今後、先進地の事例を参考に研究していきます。

答…建設経済部長

遊歩道に健康遊具を設置することで、公害防止対策や都市環境の整備を目的とした緩衝緑地の有効活用を図ることができるだけでなく、市民の健康増進の観点からも効果が期待できます。

今後、県や市で構成する坂出緩衝緑地管理運営協議会において協議を進めます。

質問の主な項目

- ・人口増施策について
- ・にぎわい創出について
- ・健幸のまちづくりについて

若谷 修治 議員

市民グループ
未来の会

▼ふるさと大使制度の創設を

問 本市にゆかりがあり、国内外の様々な分野で活躍されている方々の中で、特に若者世代の方を「坂出ふるさと大使」に委嘱し、本市が持つ豊かな自然環境等を広くPRしていただくことで、本市のイメージアップ、活性化につなげては。

答…市長

本市において、ふるさと大使の例はありませんが、本市の魅力を発信していくことに適した、全国的にも著名な方がいらつしやれば是非ともお願いしていきたいと考えています。また、情報発信に長けた若い方に大使になっていただければ、本市のまちづくり、にぎわい創出にもつながるといふ意味で誠に有意義であると考えます。

先進地の事例等も参考に、任命後の活動方法を含めた制度設計を研究していきます。

質問の主な項目

- ・市民参加のまちづくりについて
- ・学校における警戒態勢時の対応について
- ・農政大転換（減反政策の廃止）について

▼スマホ子守の危険性を啓発し
ていく考えは

問 最近、スマートフォンで、パスルや絵本などのアプリを使用して、乳幼児を遊ばせる保護者が増加している。子供にスマートフォンを与え、一人遊びさせることで、親子が直接ふれあう時間が減り、子供の感情や情操の発達への影響も心配されるところである。

答…健康福祉部長

乳幼児健診等の機会に、子育てにおけるスマートフォンとの付き合い方について啓発を行うてはどうか。

これまで乳幼児を対象とする健診等の際に、テレビやゲーム等が子供に与える影響や適切な利用の仕方について指導、啓発してきましたが、今後はスマートフォン等の利用についても力点を置き、市広報、市ホームページへの掲載や乳幼児訪問等の機会を捉えた啓発を行うなど、対策を強化していきます。



末包保広議員

新 政 会

▼歯と口腔の健康づくり推進条例を制定しては

問 歯と口腔の健康は生活の質を高め、身体の健康を保持する重要な要素である。歯と口腔の健康づくりには幼児期から高齢期まで、ライフステージを通じて総合的に取り組む必要があり、市民が一丸となって取り組む施策を総合的かつ計画的に推進するためにも、歯と口腔の健康づくり推進条例を制定してはどうか。

答…健康福祉部長

歯と口腔の健康は、市民が健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たし、健康寿命の延伸の上でも、歯科口腔保健の推進は重要な課題であると認識しています。しかしながら、県条例が既に制定されていること、医科、歯科両分野にわたる対策の推進を図る必要があることから、歯と口腔の健康づくりに特化した条例制定については、さらに検討が必要であると考えています。

質問の主な項目

- ・歯と口腔の健康づくりについて
- ・デマンド型乗り合いタクシーについて
- ・2020東京五輪の開催について

▼東京五輪の事前合宿誘致に積極的な取り組みを

問 7年後の東京五輪で多くの国が府中湖を練習会場として事前合宿を行うこととなれば、トップレベルの技術力をまじかで見ることができ、ほか、様々な国の人達とも交流を図ることができ、本市ににぎわいがもたらされる。

庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、積極的に誘致活動を進めるべきと考えるが。

答…教育長

府中湖は国内有数の環境を誇る競技場であり、有力な候補地であると考えられます。

香川県が、大会組織委員会など関係団体に働きかけるとともに、各国に直接PRを行っていく姿勢を示していますが、本市としても関係機関への情報収集に努め、本市の子供達に夢を与えるとともに、五輪を機に本市ににぎわいを創出していく考えです。



府中湖力又一競技場

12月定例会の日程

12月 5日	本会議	提案説明 決算審査特別委員長報告への質疑・討論・採決
12月10日	本会議	議案質疑・委員会付託
12月11日	本会議	一般質問（個人）
12月12日	本会議	一般質問（個人）
12月13日	委員会	議会運営委員会の議案調整等
12月13日	委員会	総務消防委員会の審査
12月13日	委員会	教育民生委員会の審査
12月16日	委員会	市民建設委員会の審査
12月20日	委員会	議会運営委員会の議案調整
	本会議	委員長報告への質疑・討論・採決
		追加議案の提案説明
		質疑・討論・採決

視察等来庁記録

12月

20日 福岡県久留米市
(算数・数学オリンピックについて)

1月

9日 愛知県春日井市
(算数・数学オリンピックについて)

[訂正]

議会だより148号(平成25年11月1日発行)
9ページ上段 病院事務局長答弁中
誤「磁気テープ……」
正「磁気ループ……」
お詫びして訂正させていただきます。

平成25年 12月定例会の審議結果

議員数 = 22名 表決参加議員数 = 21名
※議長は表決には加わりません。

認定
賛成 19名
反対 2名

市長提出議案

認定第1号
平成24年度坂出市一般会計
決算認定について

認定に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、村井孝彦
楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介、前川昌也
大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏、吉田耕一
中河哲郎、木下 清、山条忠文、東山光徳

反対

脇 芳美、野角満昭

反対意見（要旨）同和对策事業、ごみ処理手数料有料化事業に関し反対である

認定
賛成 20名
反対 1名

市長提出議案

認定第12号
平成24年度坂出市後期高齢
者医療特別会計決算認定につ
いて

認定に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美
村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介
前川昌也、大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏
吉田耕一、中河哲郎、木下 清、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭

反対意見（要旨）高齢者の人権、尊厳を擁護する立場から当該医療制度の廃止を求める

賛成
賛成 18名
反対 2名
欠席 1名

議員提出議案

議発議案第3号
坂出市議会議員定数条例の一
部を改正する条例制定につ
いて

原案可決に

賛成

齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美
村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介
前川昌也、大藤匡文、若杉輝久、松成国宏、吉田耕一
木下 清、山条忠文、東山光徳

反対

野角満昭、松田 実

反対意見、賛成意見は2ページをご参照下さい

全議員が賛成した議案（可決・認定・同意）

市長提出議案

予 算 平成25年度坂出市一般会計補正予算案第4号 など予算案 6件

条 例 坂出市税外収入の督促及び滞納処分に関する条例の一部改正

人 事 坂出市教育委員会委員の任命 など人事案件 2件

決 算 平成24年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定 など決算認定 12件

そ の 他 市道路線の認定

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】をご覧ください。

第3回議会報告会を開催

今回から、全議員が3班体制で4地区ずつ担当することで、年間で市内12地区に開催場所を拡大することとなりました。前期となる今回は下記のとおり実施し、これまでで最多となる140名の市民の皆様にご参加いただきました。

会場では、6月、9月の定例会の審議内容などについてご報告するとともに、参加者との意見交換を通し、議会に対する貴重なご意見、ご要望を数多くいただきました。

開催日	開催場所	参加議員グループ
10月28日(月)	西庄公民館	C班
10月30日(水)	川津公民館	A班
10月31日(木)	林田公民館	A班
11月1日(金)	府中公民館	B班
11月2日(土)	東部集会所	C班
	西部つどいの家	B班

○時間はいずれも19時から開催

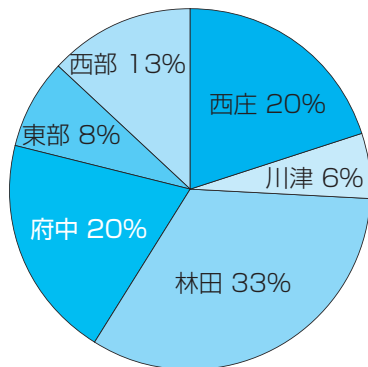
参加議員グループ ※正・副議長を除く

A班	齊藤義明、出田泰三、若谷修治 脇 芳美、松成国宏、東山光徳
B班	茨 智仁、楠井常夫、別府健二 松田 実、吉田耕一、木下 清 山条忠文
C班	村井孝彦、野角満昭、末包保広 植條敬介、前川昌也、大藤匡文 中河哲郎

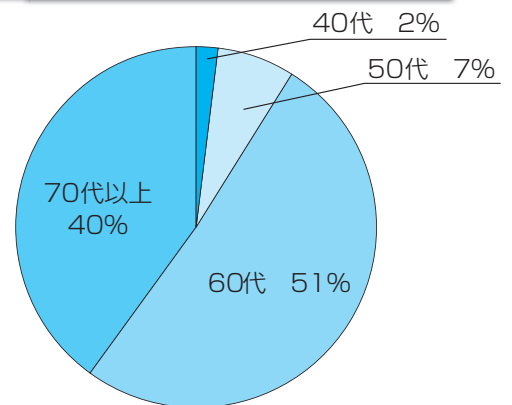
○どの会場も議長もしくは副議長が参加

議会報告会アンケート結果

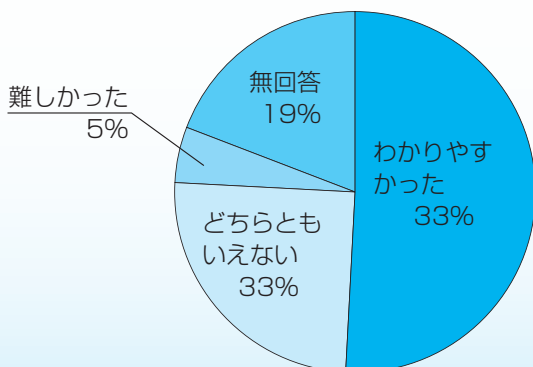
Q 地区別参加割合



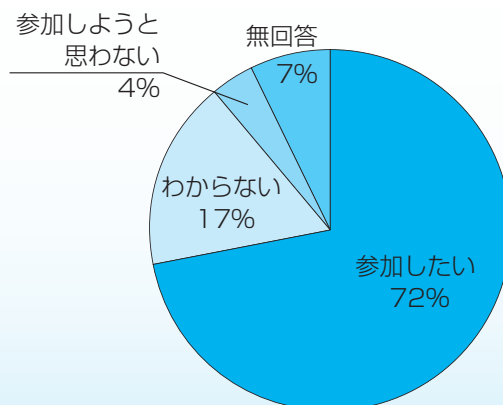
Q 参加者の年齢



Q 報告内容はどうでしたか



Q 次回も参加しますか



皆様のご意見・ご要望を 引き続き調査研究します



参加者の皆さんからいただいた議会に対するご意見・ご要望のうち、当日回答できなかったもの、本市にとって重点的に取り組む必要があるものについては、今後、各委員会や議会全体で調査研究し、議会からの政策提言につなげていきます。

- ・津波発生時の安全確保のために、避難ビルの指定が必要では。
- ・新庁舎の建設計画について、市民の利便性を考慮するなど、更なる調査研究が必要では。
- ・デマンド型乗り合いタクシーの料金や乗降場所、事前登録制の見直しは。
- ・市内循環バスの逆回りルートを設定し、利便性を向上させては。

➡ **各所管委員会で調査研究していきます**

- ・人口の減少を食い止めるためにも、市の活性化を図り、にぎわいを取り戻してほしい。
- ・変化する社会情勢に対応するため、市全体の取り組み、総合計画を見直す必要があるのでは。
- ・女性の社会進出をより一層進めるためにも、議会に女性の声を反映してほしい。

➡ **議会全体で調査研究していきます**

議会報告会の詳細は、市議会ホームページをご覧ください



行政視察報告

委員会では、付託された議案等の審査のほか所管する事項の諸問題について調査を行っています。視察内容の詳細は市議会ホームページに掲載しています。

総務消防委員会（10月23日～25日）

愛知県北名古屋市 企業立地の推進について

企業立地戦略ビジョンを策定し、奨励金の要件を緩和し規模の大小や業種にかかわらず様々な企業への支援を行うなど、企業立地を戦略的に進めています。

愛知県高浜市 公共施設のマネジメントについて

公共施設マネジメント白書を作成し、公共施設の課題を把握。限られた財源の中で、長期的な視点に立って施設の維持管理や有効活用を行っています。

岐阜県多治見市 財政健全化及び債権管理について

平成19年に多治見市健全な財政に関する条例を制定し、財政の現状等の情報を市民と共有した上で、市民参加のもと事業実施の是非や方法を決定しています。



教育民生委員会（10月23日～25日）

長野県松本市 健康寿命延伸都市の取り組みについて

企業、学、官の連携のもと、健康寿命の延伸に取り組み、「第1回健康寿命をのばそう！アワード2012」において厚生労働大臣優秀賞を受賞しています。

東京都三鷹市 コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育の充実について

公共施設マネジメント白書を作成し、公共施設の課題を把握。限られた財源の中で、長期的な視点に立って施設の維持管理や有効活用を行っています。

東京都港区 小中一貫教育における英語教育の充実について

平成17年度に教育特区の申請を行い、区立小中学校全校に外国人英語指導員を配置しています。小学校では1年生から週2時間の英語授業を行っています。



市民建設委員会（10月23日～25日）

福岡県糸島市 産地直売施設の取り組みについて

近年、農業経営は厳しい状況が続き、管内の農業生産額は年々減少しています。農業者の元気を取り戻すためにJAなどによる直売施設が、19ヵ所設置されています。

佐賀県伊万里市 伊万里港の整備事業について

輸出コンテナに対する助成金制度等で輸出入貨物の集荷を促進するとともに、航路誘致の開拓及び充実のためポートセールスに積極的に取り組んでいます。

長崎県佐世保市 特産品の販路拡大事業について

物産品の中で市民が誇れるものを「させば戦略産品」と位置づけ、産地と行政が一体となってマーケティングやプロモーションを行っています。



編集後記

昨年の今頃は瀬戸内国際芸術祭に向け、市民が一体となって開催準備に取り組んでいたように思う。どれぐらいの来場者があるかは想像もつかなかったが、とにかく地道に作業に取り組んでいた。結果は春会期会場の中ではダントツの大盛況であり、大きな感動を胸に会期を終えることが出来た。

これはにぎわい創出の立派な成功事例である。皆が一体となり、創意工夫を凝らし、精一杯努力する。

誰かにまかせるのではなく、皆がにぎわい創出の担い手であり、主役である。

市民総選挙で選ばれた本市のゆるキャラ「さかいでまろ」。選出過程も大変ユニークであったが、一層の知名度向上にはこれからが本番である。瀬戸芸の成功体験をもとに、市民一体となって盛り上げていこう。（実）

広報広聴委員会

委員長： 出田泰三
副委員長： 若谷修治
委員：
茨 智仁 村井孝彦
植條敬介 松田 実
若杉輝久 木下 清

12月定例会で同意した
人事案件【敬称略】

◎坂出市教育委員会委員

三好 康弘

◎人権擁護委員候補者

神成 章

次の定例会は
3月上旬に
開会予定です。